

公益財団法人新教育者連盟

令和2年度事業計画（運動方針）

〈はじめに〉

令和元年の年末頃から流行した新型コロナウイルスの影響で、各地とも活動に幾多の困難があることと拝察します。皆様のご苦労・ご努力に対し改めて感謝の辞を捧げます。

一方、御代替わりに伴う行事もほぼ滞りなく終え、我が国の素晴らしさを内外に宣明し終えた今、新たな誇りと決意のもと令和2年度の事業計画(運動方針)を提案致します。

我が国の現状は、子供にとって受難の時代と言えるのではないかと考えられます。

ほぼ野放しとも言える堕胎の横行、育児放棄、離婚率の高さが影響すると思われる虐待、さらには自閉症、発達障害児の多発、わが国における青少年の自己肯定感の低さや、不登校、引きこもり、果ては自殺、いじめ等々、かつて来日した欧米人が子供の天国と讃えたわが国の子育て環境が大きく変化しました。このように憂慮すべき子育て環境の中で、新教連を創始された谷口雅春先生が説かれた「人間・神の子」「現象なし」の「生命の実相哲学」に基づいて、「コトバの創化力」を駆使する「生命の教育」を実践し普及する、私たち新教育者連盟の使命とその役割は、益々大きくなっています。

さらに、正しい人間観と国家観の喪失による世相の混迷を思うとき、「自分に誇りを持ち、親に誇りを持ち、祖国日本に誇りをもつ青少年を育成する」ことを目標に掲げた新教育者連盟（新教連）の活動をさらに進めて、国家の将来及びより社会の形成に寄与することを念願された新教連創始者・谷口雅春先生の負託にお応え致すべく、新たな決意のもと下記諸活動に全力で取り組みます。

《事業計画》（運動の取り組み）

1、「生命の教育」を実践、普及する会場の拡充

家庭教育及び社会教育において「生命の教育」を実践し普及する為、母親教室（お母さん教室）・生命学園（子ども寺子屋）・座談会・学習会・講演会等を一層活発に開催するとともに、家庭教育相談を実施します。

とりわけ令和2年度は、生命学園（子ども寺子屋）開催支部の増加を目指します。

このため、ブロック会議を通じて近隣支部が協力体制をどのようにとるか検討するとともに、生命学園（子ども寺子屋）開催と運営のための手引きを作成します。

2、「新教連特任講師」「新教連教育アドバイザー」の派遣

国家社会を担う児童・青少年の健全育成に役立てる活動を行おうとする他団体（地方自治体や学校等の教育機関などを含む）に、ふさわしい「新教連特任講師」「新教連教育アドバイザー」を派遣します。

3、「新教連教育アドバイザー」の増員と実力向上

全国各地の第一線において「生命の教育」の指導にあたる、「新教連教育アドバイザー」の増員とその実力向上を目指します。

4、「新教連子育てサポーター」の養成

「生命の教育」に則った子育て支援の活動を活発に行うため、令和2年度に「新教連子育てサポーター養成課程を新たに開設し、「新教連子育てサポーター」の養成を開始します。

5、小学生による「お父さんありがとう」「お母さんありがとう」の作文を募集する

子供の心に親に感謝する気持ちを育み、親が感謝されることで喜びと生甲斐を生む、《「お父さんありがとう」「お母さんありがとう」作文募集》を、小学生対象に行います。

1. 実施要項

- (1) 募集 令和2年6月～9月15日
- (2) 入賞者発表 令和3年1月号「生命の教育」誌及び「生命の子供」誌。
- (3) 応募先 新教育者連盟作文募集係
- (4) 賞状・賞品等 最優秀賞1名 賞状、賞品—3万円分QUOカード、
優秀賞10名 賞状、賞品—5千円分QUOカード、
入選若干名 賞状、賞品—千円分QUOカード、
その他、上記入賞者全員に当連盟発行伝記シリーズ中1冊、
「生命の教育」誌1年分(保護者宛)

2. 作文募集は、次の個人・団体を対象に呼び掛け、小学生が投稿するよう協力を依頼します。(不特定多数を対象)

- ①当連盟会員の子供・孫・知人 ②小学校の教職者及び教職経験者
- ③学習塾講師等 ④サッカークラブ、書道塾、スイミングクラブなどの指導者等

6、「生命の教育」の実践・普及の教材の拡充

「生命の教育」実践・普及の教材である、月刊誌（『生命の教育』『生命の子供』）、単行本又は資料等の刊行を益々活発に行うと共に、定期講読者拡大など全国的な普及活動を積極的に行います。

とりわけ令和2年度は、生命学園(子ども寺子屋)の教材でもある『生命の子供』誌については、特に担当理事を設けて充実・拡大をはかります。

7、支部の新設・充実、ブロック会議の開催

日本全国にて「生命の教育」を実践し普及するため、拠点となる支部の新設を強力に推進します。併せて、既設の各支部の充実をはかります。

この具体化のため、とりわけ令和2年度は、コロナウィルスの影響を見極めつつ、なるべく早い時期に全国を4つのブロックに分け、ブロック毎の会議を開催します。

1. ブロック会議の目的

- ①本部と各支部の情報を共有し、本部・支部間の意識の統一と高揚を図る。
- ②各支部間の情報交換を活発化し、相互の発展に資する。
- ③相互協力の実を上げ、隣接地域への支部新設のための支援体制を築く。

2. 今年度のブロックの開催区分は以下の通りとする。(支部名で記載)

- イ、札幌会場 札幌、北見、胆振、(旭川)
- ロ、東京会場 岩手、新潟、長野、埼玉、東京、多摩、千葉、神奈川、静岡
- ハ、大阪会場 愛知、三重、奈良、京都第二、大阪、兵庫、
- ニ、福岡会場 岡山、香川、愛媛、福岡、佐賀、大分、(広島)

注) ()内は支部開設予定の地区

3. ブロック会議へは、各支部役員等が参加するものとし、各会場とも正副理事長のうち1名以上と、日程の許す限り出席該当支部内に居住する理事が参加する。

8、「生命の教育献資」の拡充

「生命の教育」の実践・普及活動をより活発に、より広く永続的に展開するため、「谷口雅春先生創始生命の教育献資」を拡充し、活動基盤の安定化を目指します。

9、全国研修会の開催

新教育者連盟全国研修会を開催します。(令和3年6月19日[土]・20日[日])